

## ■ 札幌ふるさとの樹木 ■

### その 19：ナナカマド（七竈）・バラ科

名前の由来は、

①材が燃えにくく七度竈に入れても燃え残るということから

②ナノカカマド（七日竈）の転。

極上の堅炭を得る為、七日間かまどで蒸し焼きにすることからつけられた。

日本各地の山地に生育する。花期は5～6月。花色は白。材は耐久力が強く、車両、精密機械の木部に利用される。火力が強く、うなぎの蒲焼用の炭として珍重される。

